

2016年7月27日

SB エナジー株式会社

茨城県潮来市でのメガソーラー発電所の建設について

ソフトバンクグループで自然エネルギー事業などを行う SB エナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：孫 正義、以下「SB エナジー（エスピー エナジー）」）は、茨城県潮来市において大規模太陽光発電所（メガソーラー）「ソフトバンク潮来ソーラーパーク」の建設を決定しました。

「ソフトバンク茨城潮来ソーラーパーク」は茨城県潮来市の私有地約 2 万 3,000 m²（約 2.3 ha）に設置される、出力規模が約 1,700kW（約 1.7MW）、年間予想発電量が一般家庭約 519 世帯分の年間電力消費量に相当する約 187 万 2,000kWh／年の発電を行うメガソーラー発電所で、2017 年 1 月上旬の運転開始を目指します。また、本発電所の建設にあたり、SB エナジーは初めて自社による建設工程の計画と管理を実施します。

SB エナジーは、今後も自然エネルギーの普及・拡大を目指し、メガソーラーをはじめとする自然エネルギー発電所の建設と運営を推進します。

■ 「ソフトバンク潮来ソーラーパーク」の概要

所在地	茨城県潮来市新宮 1640-1 他
敷地面積	約 2 万 3,000 m ² （約 2.3ha）
出力規模（太陽電池容量）	約 1,700kW（約 1.7MW）
年間予想発電量（初年度）	約 187 万 2,000kWh／年 一般家庭約 519 世帯分の年間電力消費量に相当 ※1 世帯当たり 3,600kWh／年で算出
運転開始	2017 年 1 月上旬（予定）